



CHAPTER 4

初期設定

この章では、Cisco 819 サービス統合型ルータ（ISR）の初期設定の手順を説明します。初期設定には、Cisco Configuration Professional（CP）Express を使用してください。Cisco CP Express は、初期設定を容易に完了できるようにする、Web ベースの GUI です。

Cisco IOS コマンドライン インターフェイス（CLI）を使用するか、または `setup` コマンド機能を使用してルータの初期設定を行うこともできます。`setup` コマンド機能で初期設定を行う場合は、ルータおよびネットワークの基本情報を入力するように要求されます。

この章の内容は、次のとおりです。

- 「Cisco Configuration Professional Express」(P.4-1)
- 「Cisco IOS CLI」(P.4-1)
- 「`setup` コマンド機能」(P.4-3)
- 「初期設定の確認」(P.4-5)

Cisco Configuration Professional Express

ケーブルを接続してルータの電源を入れた後で、Cisco CP Express という Web ベース アプリケーションを使用して、ルータを初期設定してください。

Cisco CP Express でルータを設定する手順については、『[Cisco CP Express User's Guide](#)』を参照してください。

Cisco IOS CLI

Cisco IOS CLI でルータを初期設定する場合は、コンソール接続を確立する必要があります。コンソール接続の確立手順については、「[コンソールポートへの端末または PC の接続](#)」(P.3-4) を参照してください。

Cisco IOS CLI でルータを初期設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 ルータとのコンソール接続を確立します。次のメッセージが表示されます。

```
...
router con0 is now available
```

ステップ 2 Return を押します。次のメッセージが表示されます。

```
Cisco Configuration Professional Express (Cisco CP Express) is installed on this device.
This feature requires the one-time use of the username "username1"
with the password "password1." The default username and password have a privilege level of
15.
```

```
Please change these publicly known initial credentials using Cisco CP Express or the Cisco
IOS CLI.
```

```
Here are the Cisco IOS commands.
```

```
username <myuser> privilege 15 secret 0 <mypassword>
no username username1
```

```
Replace <myuser> and <mypassword> with the username and password you want to use.
```

```
For more information about Cisco CP please follow the instructions in the QUICK START
GUIDE for your router...
```

```
...
```

```
User Access Verification
Username:
```

ステップ 3 ユーザ名として **username1** を入力し、Return または Enter を押します。次のプロンプトが表示されま

```
Password:
```

ステップ 4 パスワードとして **password1** を入力し、Return または Enter を押します。次のプロンプトが表示され

```
Router#
```

最初の警告と同様のメッセージが表示され、ユーザ名およびパスワードを変更するように指示されま

この時点で特権 EXEC モードになっています。



(注) ルータからログオフする前に、必ず、ユーザ名およびパスワードを変更してください。このセッションからログオフすると、以後はユーザ名 **username1** またはパスワード **password1** を使用できなくなります。

ステップ 5 ユーザ名およびパスワードを変更するには、プロンプトに次のように入力します。

```
username username privilege 15 secret 0 password
```

username および *password* は、任意のユーザ名およびパスワードです。

初期設定を行うために Cisco IOS CLI を引き続き使用するには、『[Cisco 819 Integrated Services Routers Software Configuration Guide](#)』の該当する設定手順を参照してください。



(注) リセット、電源の再投入、または停電で設定変更が失われることがないように、変更したコンフィギュレーションを定期的に保存してください。コンフィギュレーションを NVRAM に保存するには、特権 EXEC モードのプロンプト (Router#) に **copy running-config startup-config** コマンドを入力します。

ステップ 6 初期設定を確認します。「[初期設定の確認](#)」(P.4-5) を参照してください。

setup コマンド機能

setup コマンド機能を使用すると、指示に従い、システムの設定に必要な情報を具体的に入力することによって、設定プロセスを完了できます。setup コマンド機能を使用して、ルータのホスト名を設定し、パスワードを設定し、管理ネットワークとの通信用インターフェイスを設定します。

setup コマンド機能を使用するには、ルータとのコンソール接続を確立し、特権 EXEC モードを開始する必要があります。

setup コマンド機能を使用してルータを初期設定する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 ルータとのコンソール接続を確立し、特権 EXEC モードを開始します。特権 EXEC モードを開始する手順については、「[Cisco IOS CLI](#)」(P.4-1)の**ステップ 1**～**ステップ 4**を参照してください。

ステップ 2 特権 EXEC モードで、プロンプトに **setup** を入力します。

```
yourname# setup
```

次のメッセージが表示されます。

```
--- System Configuration Dialog ---
```

```
Continue with configuration dialog? [yes/no]:
```

この時点で、setup コマンド機能が起動しています。

setup コマンド機能のプロンプトはルータのモデル、組み込まれているインターフェイス モジュール、さらにソフトウェア イメージによって異なります。ここで照会する手順およびユーザ入力（太字の部分）は、あくまでも例です。



(注) setup コマンド機能を間違って使用した場合は、setup コマンド機能を終了し、再度実行してください。Ctrl+C を押し、特権 EXEC モードのプロンプト (Router#) に **setup** コマンドを入力します。setup コマンド機能の詳しい使い方については、『[Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference, Release 12.2T](#)』の「[The Setup Command](#)」の章を参照してください。

ステップ 3 setup コマンド機能を引き続き使用する場合は、**yes** を入力します。

```
Continue with configuration dialog? [yes/no]: yes
```

ステップ 4 次のメッセージが表示されたら、**yes** を入力し、基本的な管理設定を入力します。

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.
```

```
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.
```

```
Default settings are in square brackets '['].
```

```
Basic management setup configures only enough connectivity  
for management of the system, extended setup will ask you  
to configure each interface on the system
```

```
Would you like to enter basic management setup? [yes/no]: yes
```

ステップ 5 ルータのホスト名（例では **Router**）を入力します。

```
Configuring global parameters:
```

```
Enter host name [Router]: Router
```

ステップ 6 イネーブル シークレット パスワードを入力します。このパスワードは暗号化されるので（安全性が高い）、コンフィギュレーションを表示してもパスワードは表示されません。

```
The enable secret is a password used to protect access to
privileged EXEC and configuration modes. This password, after
entered, becomes encrypted in the configuration.
Enter enable secret: xxxxxxx
```

- ステップ 7** イネーブル シークレット パスワードとは異なるイネーブル パスワードを入力します。このパスワードは暗号化されない（安全性が低い）ため、コンフィギュレーションを表示すると、パスワードも表示されます。

```
The enable password is used when you do not specify an
enable secret password, with some older software versions, and
some boot images.
Enter enable password: xxxxxxx
```

- ステップ 8** 仮想端末パスワードを入力します。このパスワードによって、コンソールポート以外のポートからルータへの不正アクセスを防止します。

```
The virtual terminal password is used to protect
access to the router over a network interface.
Enter virtual terminal password: xxxxxxx
```

- ステップ 9** 次のプロンプトに対して、使用するネットワークに適した応答を入力します。

```
Configure SNMP Network Management? [yes]:
Community string [public]:
```

使用可能なインターフェイスの要約が表示されます。

- ステップ 10** 管理ネットワークにルータを接続するために使用するインターフェイスを1つ選択します。

```
Enter interface name used to connect to the
management network from the above interface summary: fastethernet4
```

- ステップ 11** 次のプロンプトに対して、使用するネットワークに適した応答を入力します。

```
Configuring interface FastEthernet0:
Use the 100 Base-TX (RJ-45) connector? [yes]: yes
Operate in full-duplex mode? [no]: yes
Configure IP on this interface? [yes]: yes
IP address for this interface: 172.1.1.2.3
Subnet mask for this interface [255.255.0.0] : 255.255.0.0
Class B network is 172.1.0.0, 26 subnet bits; mask is /16
```

コンフィギュレーションが表示されます。

The following configuration command script was created:

```
hostname Router
enable secret 5 $1$D5P6$PYx41/1QIASK.HcSbf05q1
enable password xxxxxxx
line vty 0 4
password xxxxxxx
snmp-server community public
!
no ip routing
!
interface FastEthernet0
no shutdown
speed 100
duplex auto
ip address 172.16.2.3 255.255.0.0
!
```

- ステップ 12** 次のプロンプトに応答します。2を入力して初期設定を保存します。

```
[0] Go to the IOS command prompt without saving this config.
[1] Return back to the setup without saving this config.
[2] Save this configuration to nvram and exit.

Enter your selection [2]: 2
Building configuration...
Use the enabled mode 'configure' command to modify this configuration.

Press RETURN to get started! RETURN

The user prompt is displayed.
Router>
```

ステップ 13 初期設定を確認します。確認手順については、「[初期設定の確認](#)」(P.4-5)を参照してください。

最初のコンフィギュレーション ファイルの作成後は、Cisco IOS CLI で追加設定を行うことができます。

初期設定の確認

新しいインターフェイスが正しく動作していることを確認するには、次のテストを実行します。

- インターフェイスおよび回線プロトコルが正常の状態（アップまたはダウン）にあるかどうかを確認するには、**show interfaces** コマンドを入力します。
- IP 用として設定されたインターフェイスのサマリー ステータスを表示するには、**show ip interface brief** コマンドを入力します。
- 有効なホスト名およびパスワードが設定されているかどうかを確認するには、**show configuration** コマンドを入力します。

初期設定を完了し、確認した後で、Cisco ルータの個々の機能を設定できます。

